

2026年4月14日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島復興本社

# 「福島復興への責任を果たすために」

～ 2025年度 福島復興へ向けた取り組み ～

---

〔第19版〕



# 目次・本資料(写真集)について

1. 福島復興本社について〔福島復興本社代表あいさつ、組織体制〕	2
2. 福島復興本社の歩み	3
3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向	4～7
4. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】	8～10
5. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】	11～16
6. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】	17～23
7. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要	24
8. 産業基盤の整備に資する取り組み	25～26
9. 東京電力廃炉資料館	27
10. 福島復興へ向けた活動実績	28～30
(参考) 福島復興へ向けた取り組み“アーカイブページ”のご案内	31～32

## 本資料(写真集)について

本資料は、福島復興本社設置(2013年1月)以降、代表定例会見等でお知らせしている各取り組みについて改めてとりまとめました。掲載内容は、ある程度コンパクトに編集しておりますので、本資料の最後にご案内しております当社HPからも是非ご覧ください。

# 1. 福島復興本社について

## 福島復興本社代表あいさつ



東日本大震災、当社が起こした福島第一原子力発電所の事故から、15年が経過しました。当社事故により今もなお、地域のみなさま、福島県のみなさま、そして広く社会のみなさまに大変なご心配とご負担をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

私たち福島復興社は、責任の重さをあらためて胸に刻むとともに原点は「福島への責任を果たしていく」という強い使命のもと、日々進展する浜通り地域の復興に力を注いでいます。

この先の環境変化を踏まえ、廃炉を安全かつ着実に進めることと、事故による被害をしっかりと補いつつ、地域の復興に引き続き力を尽くします。廃炉と復興を両立するには、地域の方々、地元企業や広く社会のみなさまのご理解がなによりも重要です。安全を最優先に地域の方々に安心いただけるよう努め、わかりやすい情報の提供と対話を重ねながら、理解から共感へ、そして、信頼を築いていきます。

私たちは地域のみなさまと一緒に福島復興に向けて取り組んでまいります。

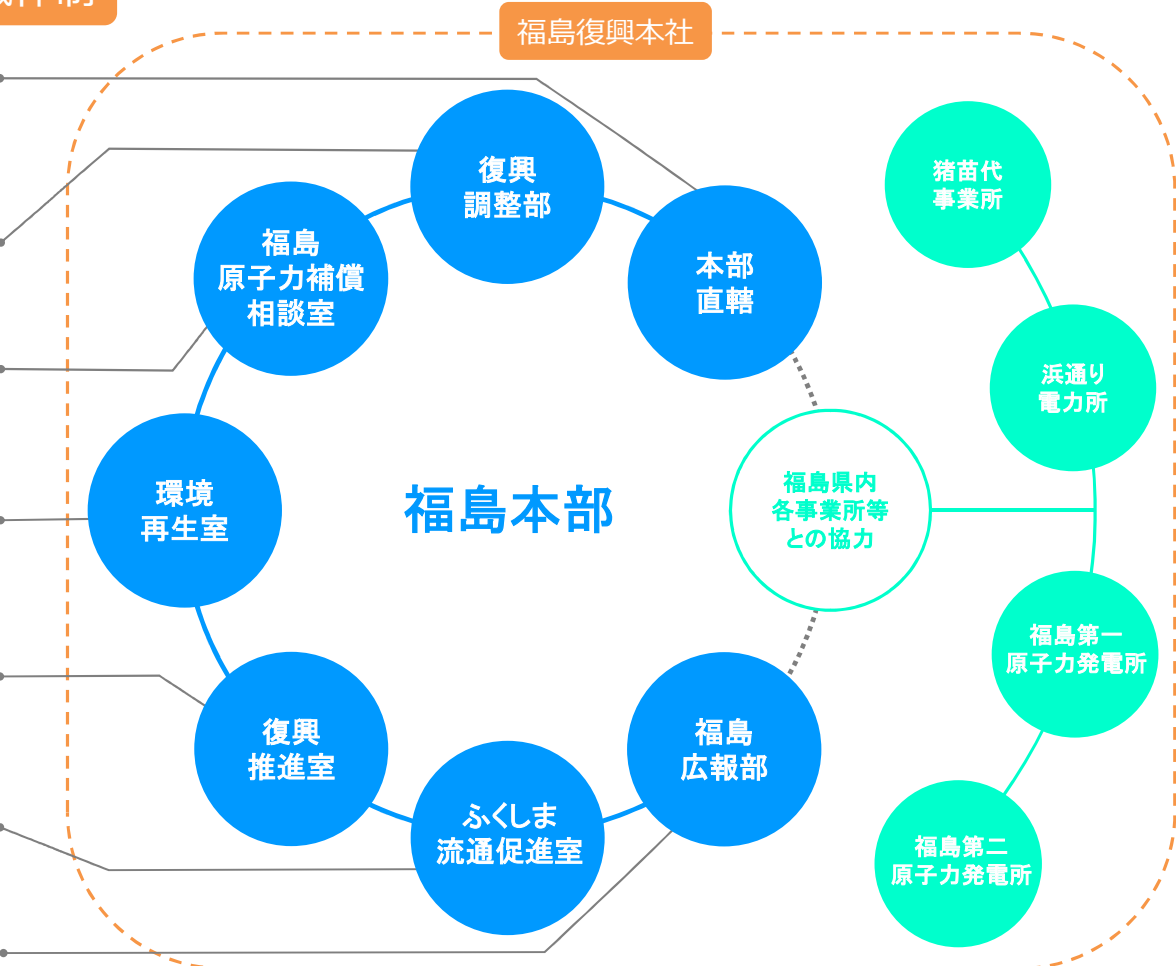
2026年4月

福島復興本社代表 **秋本 展秀**

## 福島復興本社の組織体制

### 福島本部

- 主な業務:** 各所と連携した地域対応、廃炉資料館の運営、復興本社代表補佐  
**設置箇所:** 双葉町（総括箇所）、富岡町、福島市
- 主な業務:** 国、自治体と連携した復興本社の施策立案、諸計画策定、地域のみなさまからのご要望への対応策の立案  
**設置箇所:** 東京都（総括箇所）、双葉町等
- 主な業務:** 賠償業務（円滑かつ適切な賠償に向けた取り組み）  
**設置箇所:** いわき市（総括箇所）、福島市、郡山市、会津若松市、南相馬市、仙台市等
- 主な業務:** 環境再生業務（国・自治体の実施する除染・中間貯蔵・廃棄物事業の推進、農林業再生、リスクコミュニケーション）  
**設置箇所:** 福島市（総括箇所）、大熊町、いわき市、富岡町、東京都
- 主な業務:** 復興推進活動業務（帰還促進のための除草や、地域復興に向けた賑わい創出のお手伝いなどの取り組み）  
**設置箇所:** 富岡町（総括箇所）、大熊町、双葉町、浪江町、楢葉町、南相馬市、福島市
- 主な業務:** 福島県産品ならびに国産水産品の販路開拓・購入促進に向けた取り組み  
**設置箇所:** 東京都（総括箇所）、福島市
- 主な業務:** 広報業務（県内の発電所の状況や、賠償・福島復興に向けた取り組みの情報発信・取材対応）  
**設置箇所:** 福島市（総括箇所）、双葉町






2026年4月1日時点



### 3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】●環境再生活動 ●復興推進活動 ●流通促進活動 ●廃炉関連 ●その他（復興へ向けた取り組み等）

		2011年(H23)	2012年(H24)	2013年(H25)	2014年(H26)
避難指示区域の解除 <small>※帰還困難区域を除く</small>					4月 田村市都路地区  10月 川内村の一部
	福島県内における主な出来事  東日本大震災・福島第一原子力発電所事故		7月 国直轄地域の除染開始		
福島県内における主な当社関連の動向		3月 仮払い補償開始 4月 福島原子力被災者支援対策本部の設置  8月 ● 「走行モニタリング」開始 9月 ● 本賠償開始  11月 ● 福島県産品販売会の開始（社内） 12月 ● 中長期ロードマップ策定	11月 ● 常磐自動車道路除染工事に対応	1月 福島復興本社の設置（Jヴィレッジ）  5月 ● 福島県外からの社員派遣開始 6月 ● 入退域管理施設移転 （Jヴィレッジ→福島第一原子力発電所）	1月 新・総合特別事業計画認定 ・産業基盤や雇用機会の創出 ・除染推進「国が実施する除染作業の加速化への協力」 ・原子力損害賠償「3つの誓い」
		11月 ● ふくしま応援企業ネットワーク発足 12月 ● 4号機使用済燃料取り出し完了			
		 走行モニタリング	 除染工事監理業務	 復興推進活動（墓地清掃）	

### 3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】●環境再生活動 ●復興推進活動 ●流通促進活動 ●廃炉関連 ●その他（復興へ向けた取り組み等）

	2015年(H27)	2016年(H28)	2017年(H29)	2018年(H30)
避難指示区域の解除 ※帰還困難区域を除く	9月 楢葉町	6月 南相馬市 葛尾村・川内村	3月 富岡町 川俣町・浪江町・飯館村	
福島県内における主な出来事	3月 除染土壌等の輸送開始 常磐自動車道全線開通		3月 面的除染完了（国直轄） 5月 福島復興再生特措法の改正	3月 （帰還困難区域を除く） 全ての面的除染完了
福島県内における主な当社関連の動向	4月 福島給食センター運用開始（大熊町） 5月 帰還後の安心に向けた施策に対応 6月 「見回り活動」開始 8月 避難指示解除前後の地域イベントに対応 10月 海側遮水壁の完成	3月 福島復興本社移転（富岡町浜通り電力所） 4月 除染土壌等の輸送への技術支援に対応 HDカンパニー移行 8月 広野IGCCパワー合同会社の設立 勿来IGCCパワー合同会社	1月 楢葉町「天神原湿原」再生・保全に対応 3月 福島送電の設立、新福島変電所の設備改修工事竣工 4月 新々・総合特別事業計画認定 5月 サツマイモ栽培・収穫等に協力（楢葉町） 8月 仮置場の原状回復に向け対応	12月 特定復興再生拠点区域除染工事に対応 2月 ふくしま流通促進室の設置 3月 陸側遮水壁の運転開始 4月 緑肥栽培試験の実施（農地の地力回復等） 5月 一般作業服エリア拡大（敷地内約96%） 8月 LINE公式アカウント「ふくしま応援隊」を開設 11月 廃炉資料館の設置

### 3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】●環境再生活動 ●復興推進活動 ●流通促進活動 ●廃炉関連 ●その他（復興へ向けた取り組み等）

	2019年(H31/R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	2022年(R4)
避難指示区域の解除 ※帰還困難区域を除く	4月 大熊町	3月 特定復興再生拠点区域の一部※ ※帰還困難区域内 (大熊町・双葉町・富岡町)	11月 葛尾村 準備宿泊開始	12月 大熊町 準備宿泊開始 1月 双葉町 準備宿泊開始 4月 富岡町 準備宿泊開始 6月 葛尾村・大熊町 8月 双葉町 9月 浪江町・飯館村 準備宿泊開始
福島県内における主な出来事	4月 Jヴィレッジ全面再開	2月 JR常磐線全線再開 9月 東日本大震災・ 原子力災害伝承館（双葉町）の開所	7月 とみおかアーカイブ・ミュージアムの開館 10月 震災遺構浪江町請戸小学校開館	3月 除染土壌等の輸送完了 10月 JR只見線全線運転再開
福島県内における主な当社関連の動向	2月 ●2号機原子炉内部調査（デブリ確認） 7月 福島第二原子力発電所の廃炉決定 10月 ●台風19号・豪雨発生後の地域へ協力（10月～12月）	2月 ●新型コロナウイルスの影響で県外からの復興推進活動への派遣中断 5月 ●葡萄園場整備等に協力（川内村） 7月 ●福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局の設置 10月 浜通り廃炉産業プロジェクト室の設置 (双葉町／双葉町産業交流センター)	4月 ●処理水海洋放出の政府方針決定 7月 FIT制度適用に伴い得られた収益の一部拠出開始 (以降、当社会見、関係自治体等への説明開始) 8月 ●福島復興へ向けた活動実績 累計100万人到達（7/21） ●猪苗代水系、中小経年水力発電所設備改修 (以降、当社会見、関係自治体等への説明開始) ●JA全農福島様による2カ国大使館への「福島県産の桃」の贈呈 ●第四次総合特別事業計画認定	2月 ●1号機原子炉格納容器内部調査開始 12月 ●地質調査開始（海上ボーリング調査） 11月 ●準備宿泊に向けた生活基盤整備のお手伝い 10月 ●除染推進室から「環境再生室」への名称変更 ●JA全農福島様による2カ国大使館への「福島県産の桃」の贈呈 6月 ●準備宿泊開始に伴う地域の見回り活動 8月 ●ALPS処理水希釈放出設備等の設置に係る事前了解を受領 (葛尾村、大熊町、双葉町、富岡町) 12月 風評被害が発生した場合の賠償基準を公表 ALPS処理水の放出に伴い 「発見！ふくしま」海外初開催（タイ・バンコク） 海外での流通促進の取り組み

# 3. 東日本大震災・原子力災害事故以降の福島県内における当社関連の動向

【凡例】●環境再生活動 ●復興推進活動 ●流通促進活動 ●廃炉関連 ●その他（復興へ向けた取り組み等）

	2023年(R5)	2024年(R6)	2025年(R7)	2026年(R8)
避難指示区域の解除 <small>※指定困難区域を除く</small>	3月 浪江町 4月 富岡町 5月 飯館村 11月 富岡町（点・線拠点）		3月 （特定復興再生拠点区域外の飯館村・葛尾村） 土地活用に向けた避難指示解除	
福島県内における主な出来事	4月 福島国際研究教育機構（FIREI）設立 6月 改正福島復興再生特措法施行 12月 特定帰還居住区域の除染作業開始（大熊町・双葉町）	6月 特定帰還居住区域の除染作業開始（6月/浪江町 9月/富岡町） 9月 飯館みらい発電所営業運転開始	1月 福島廃炉等地域共生協議会初代会 3月 「クマSUNテラス」オープン（双葉町） 「CREVAおおくま」	11月 特定帰還居住区域一部で立ち入り緩和 3月 「MEMEGURU FUTABA」
福島県内における主な当社関連の動向	1月 廃炉資料館 来館者数10万人到達 3月 中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償の公表 4月 中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償の受付を開始 7月 ALPS処理水希釈放出設備の使用前検査の終了証を受領 8月 ALPS処理水海洋放出開始 10月 ALPS処理水海洋放出に伴う相談窓口・訪問拠点の設置 12月/北海道長万部町、紋別市、大阪府大阪市、福岡県福岡市 10月/宮城県石巻市	3月 日本海溝津波防潮堤完成 5月 2号機燃料デブリ試験の取り出しに向けた 7月 福島県外で勤務する社員による復興推進活動の再開 X-6ベネ内堆積物除去完了 11月 2号機燃料デブリ試験の取り出しに向けた X-6ベネ内堆積物除去開始	1月 福島県産品の流通促進に関する 2月 HTI（高温焼却炉建屋）ゼオライト土のう集積作業着手 3月 ALPS処理水海洋放出により空になった溶接型タンクの解体開始 「国分グループ本社株式会社」様との包括連携協定の締結 4月 営業再開に向けた取り組み（4月～10月 大熊町） 2号機燃料デブリ2回目試験的取り出し完了 6月 中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償の臨時ご相談窓口の開設 7月 福島県産品の継続的な取り扱いに向けた活動 8月 廃炉資料館 来館者数20万人到達 3月/福島市、いわき市 12月/いわき市、相馬市、新地町 1月/いわき市 6月/新地町、相馬市 9月/白河市、東白川郡塙町	11月 福島県産品のブランド価値向上に向けた取り組み 1月 福島県産品のブランド価値向上に向けた取り組み 2月 福島県産品のブランド価値向上に向けた取り組み 3月 3号機原子炉格納容器内部ドローン調査 第五次総合特別事業計画認定 1号機原子炉建屋 大型カバード設置完了 11月 秋のおいしいふくしまフェア2025 二子玉川ライズガレリア 11月 秋のおいしいふくしまフェア2025 二子玉川ライズガレリア 2月 福島牛「福稲花」の特別試食会 253月 ふくしま満彩！グルメフェアWinter（首都圏36店舗） 10511月 ふくしま満彩！グルメフェアAutumn（首都圏35店舗） 912月 「グルメフェア参加飲食店向け」桃、米、お酒の産地見学会 8月 ふくしま満彩！グルメフェアSummer（首都圏33店舗）



ホクテ・桃の販売イベント



地域イベントのお手伝い

## 4. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

### 特定帰還居住区域におけるモニタリング対応

#### 取組内容

▶ 環境省から要請をいただき、特定帰還居住区域におけるモニタリングを実施しました。

### 特定帰還居住区域におけるモニタリングの様子



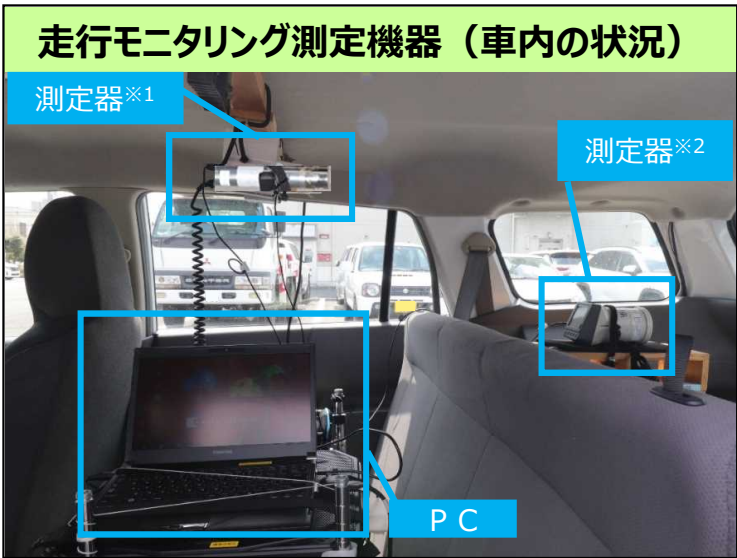
- ご帰還される住民の皆さまのご不安が少しでも解消されるよう、除染に関する様々なご要請に対し、人的・技術的なご協力をしてまいります。

# 4. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

## 避難指示区域等の主要道路モニタリングへの対応

### 取組内容

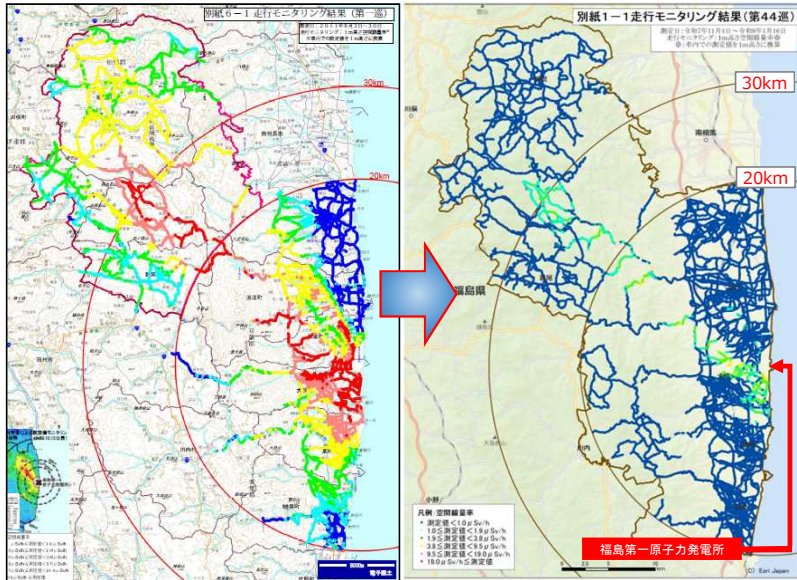
- ▶ 国が定める「総合モニタリング計画」に基づき、当社は避難指示区域等の空間線量率分布状況の把握を目的としたモニタリングを実施しております。
- ▶ 本モニタリングは、自動車に測定器とGPSを搭載し、福島第一原子力発電所周辺の避難指示区域等<sup>※</sup>の空間線量率を測定するもので、約1,400 kmを走行し、年2回のペースで継続的に実施しております。  
※ 避難指示が解除された地域を含む



※1: Naishin Cherenkov Counter (低線量用) ※2: 電離箱 (高線量用)

### <走行モニタリングの結果>

第1巡 (空間線量率マップ) 第44巡  
 (2011.8.3~8.30) (2025.11.4~2026.1.16)



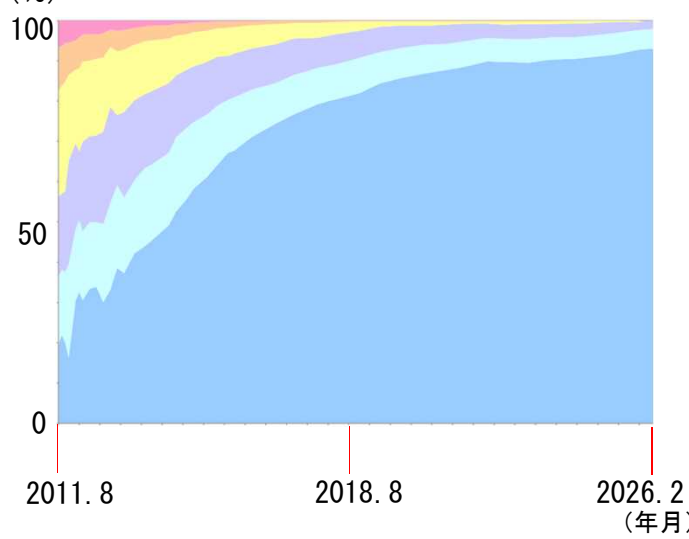
出典: 避難指示区域等における詳細モニタリング結果 (経済産業省ホームページ)

- 測定値 < 1.0 μSv/h
- 1.0 ≤ 測定値 < 1.9 μSv/h
- 1.9 ≤ 測定値 < 3.8 μSv/h
- 3.8 ≤ 測定値 < 9.5 μSv/h
- 9.5 ≤ 測定値 < 19.0 μSv/h
- 19.0 μSv/h ≤ 測定値

全域の計測結果推移	1巡	29巡 <sup>※</sup>	44巡
最高値 (μSv/h)	140	31	22
最低値 (μSv/h)	0.18	0.04	0.03
平均値 (μSv/h)	7.0	0.9	0.4

※第29巡の実施期間: 2018.4.3~5.10

### <空間線量率の度数分布の変化>



- 19.0 μSv/h ≤ 測定値
- 9.5 μSv/h ≤ 測定値 < 19.0 μSv/h
- 3.8 μSv/h ≤ 測定値 < 9.5 μSv/h
- 1.9 μSv/h ≤ 測定値 < 3.8 μSv/h
- 1.0 μSv/h ≤ 測定値 < 1.9 μSv/h
- 測定値 < 1.0 μSv/h

【解説】近年は大きな変化は見られないものの、多少の上下変動を伴いながら時間の経過とともに、空間線量率が低い割合が増加している傾向が見られ、また、安定してきていることが分かる。

出典: 経済産業省HPより引用  
<https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release.html>

- 定期的なモニタリングを通じて、住民の皆さまや帰還、移住を検討されている皆さまのご不安が少しでも解消されるよう、ご協力してまいります。

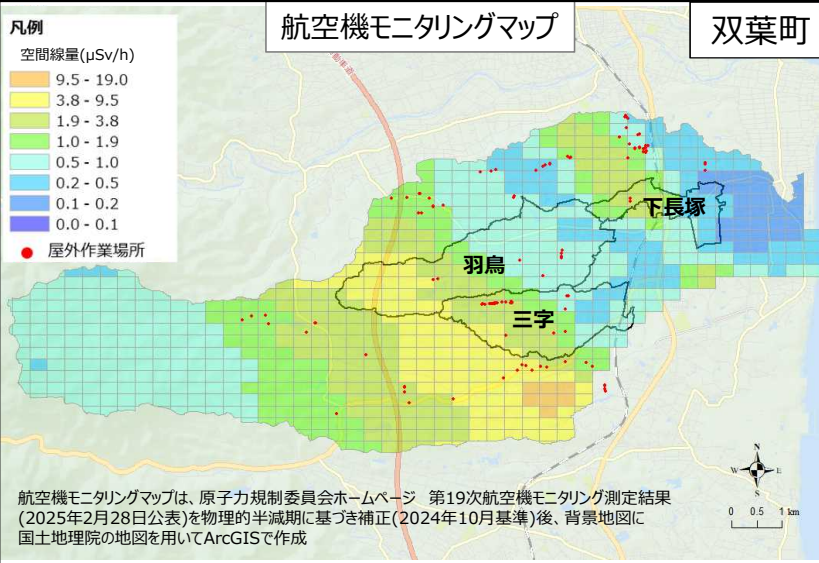
# 4. 福島復興へ向けた取り組み【環境再生活動】

## 帰還困難区域における個人被ばく線量評価に関する取り組み

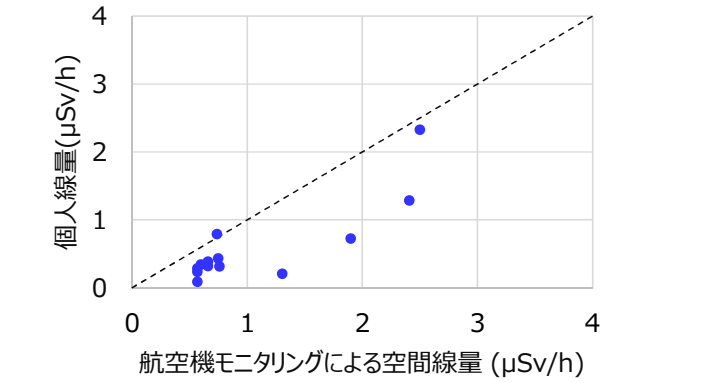
### 取組内容

- ▶ 当社は住民の皆さまのご帰還に向けた判断の一助となることを目的に、2020年3月より帰還困難区域において復興推進活動に取り組む社員の個人被ばく線量(以下「個人線量」という)の測定・評価を実施しています。
- ▶ また航空機モニタリングによる空間線量と実際の個人線量の関係性を評価し、各自治体へ情報提供しています。
- ▶ この度、双葉町より「第14回双葉町放射線量等検証委員会(4月)」における立入規制緩和に向けた検証材料の一つとして当社データの提供および説明のご依頼をいただき、対応しました。

### 航空機モニタリングによる空間線量と個人線量の関係性を評価



・三字、下長塚、羽鳥行政区のうち、特定帰還居住区域における個人線量は航空機モニタリング※<sup>1</sup>による空間線量をほとんど下回る※<sup>2</sup>  
 ・解析は日本原子力開発研究機構より技術的なご助言をいただき実施



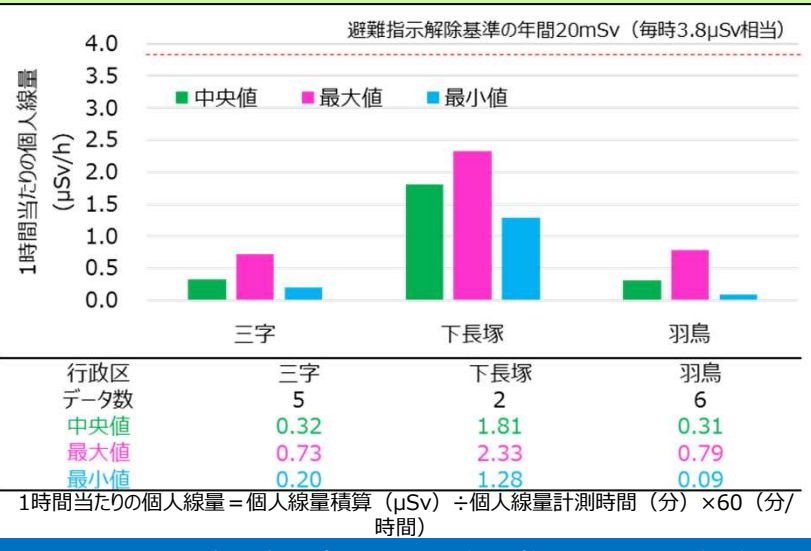
※<sup>1</sup> 原子力規制委員会HP 第19次航空機モニタリング測定結果(2025年2月28日公表)を使用。航空機モニタリング結果は、個人線量計測時期に合わせ物理的半減期に基づき補正  
 ※<sup>2</sup> 各行政区内には特定帰還居住区域以外の区域が混在するため、航空機モニタリングマップと散布図のデータ数は一致しない

第19次航空機モニタリング結果(双葉町)と個人線量測定箇所

個人線量と空間線量の関係

### 第14回双葉町放射線量等検証委員会 当社資料(一部抜粋)

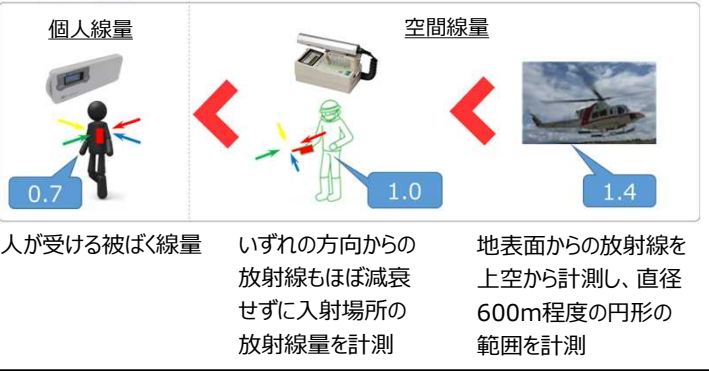
双葉町HP: <https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/12317.htm>



三字・下長塚・羽鳥行政区(特定帰還居住区域)における個人線量結果

### (参考) これまでの当社の主な取り組み

- 個人線量評価に向けた取り組み
  - ・ 2013年11月  
1分単位で計測・記録できる個人線量計『DOSE e nano』を富士電機と共同開発
  - ・ 2023年1月  
帰還困難区域等で空間線量と個人線量関係性を評価



< 双葉町放射線量等検証委員会における検証結果について(中間報告)(2025年5月30日) >  
 同委員会にて検証した結果、対象区域の現地視察や事務局等の説明も踏まえ、対象区域では除染や自然減衰等により放射線量が十分に低減しており、立入規制を緩和して差し支えないとの判断を報告されました。

● 今後も当社活動における個人線量の測定・評価および情報提供を継続し、住民の皆さまのご帰還に向けた判断などにお役立ていただけるよう取り組んでまいります。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

### 帰還困難区域内における墓地除草のお手伝い

#### 取組内容

- ▶ 地域の皆さまのご帰還に向けたお手伝いとして、お盆やお彼岸に支障なくお墓参りができるように、福島県外の社員とともに墓地構内の除草作業を行いました。

#### 浪江町「帰還困難区域の墓地除草」



刈払機による除草作業



刈った草の集積作業

#### 双葉町「福島県外社員による帰還困難区域の墓地除草」



福島県外の社員による除草作業



福島県外の社員による刈った草の集積作業

- 今後もお帰還に向け、帰還困難区域内における除草作業を継続してまいります。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

### 地域の季節イベントのお手伝い

#### 取組内容

- 富岡町で「夜の森桜まつり2025」が開催され、当社は会場内の清掃や来場者の誘導、受付のお手伝いを行いました。
- 葛尾村で「第8回葛尾村盆踊り」が開催され、当社は地域の皆さまと一緒に会場設営や、イベントブースのお手伝いを行いました。

### 富岡町「夜の森桜まつり2025」【4月6日(土)・7日(日)】



桜並木でのYOSAKOI演舞



会場清掃

### 葛尾村「第8回葛尾村盆踊り」【8月14日(木)】



盆踊り



やぐらの飾りつけ

- 地域の豊かな季節のイベントでお手伝いをさせていただくなど、引き続き地域の賑わいへの一助となるよう、活動を継続してまいります。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

### 地域の伝統あるイベントのお手伝い

#### 取組内容

- 「相馬野追」が開催され、当社は出陣式や式典などの事前準備から片付けまでのお手伝いを行いました。また、お行列にも参加させていただきました。
- 川内村で「第60回天山祭り」が開催され、当社は事前準備や当日の会場準備、片付けのお手伝いを行いました。

### 南相馬市・浪江町・双葉町「相馬野馬追」【5月24日（土）～26日（月）】



騎馬行列



お行列

### 川内村「第60回天山祭り」【7月12日（土）】



天山祭り会場



片づけのお手伝い

- 歴史ある地域イベントのお手伝いをさせていただくなど、引き続き地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、取り組んでまいります。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

### 環境美化活動を通じた地域コミュニティへの参加

#### 取組内容

- ▶ 各地域で環境美化活動が行われ、当社は事前準備や、地域の皆さまと一緒に町内の清掃や花植えを行いました。

### 檜葉町・広野町「クリーンアップ作戦」【6月1日(日)】



檜葉町 清掃活動



広野町 清掃活動

### 富岡町・広野町「花いっぱい運動」【6月3日(火)、6月7日(土)】



広野町 花植え



富岡町 花植え

- 今後も地域の皆さまとのコミュニケーションの機会を大切にしながら、地域の環境美化に向けた取り組みを続けてまいります。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

### 地域コミュニティイベントへの参加・お手伝い

#### 取組内容

- 双葉町で「第59回双葉町町民体育祭」が開催され、会場設営、駐車場誘導のお手伝いを行いました。また、当社社員も、競技へ参加させていただきました。
- 大熊町で「里がえりもちつき大会 2026」が開催され、イベント運営の補助や会場準備、駐車場誘導、片付けなどのお手伝いを行いました。

### 双葉町「第59回双葉町町民体育祭」【2025年9月27日（日）】



体育祭競技



体育祭競技

### 大熊町「里がえりもちつき大会 2026」【2026年1月10日（土）】



もちつきの様子



駐車場誘導

- 地域の活性化やコミュニティ創出イベントのお手伝いをさせていただくなど、引き続き地域の賑わいへの一助となれるよう、活動を継続してまいります。

## 5. 福島復興へ向けた取り組み【復興推進活動】

### 地域の魅力発信イベントのお手伝い

#### 取組内容

- 川内村「ふたばワールド」が開催され、当社は会場設営の事前準備や駐車場誘導、会場清掃のお手伝いを行いました。
- 大熊町で「大熊町ふるさとまつり」が開催され、当社は会場スタッフとして参加者の受付対応などのお手伝いを行いました。イベントではギネス世界記録®への挑戦が行われました。

### 川内村「ふたばワールド」【2025年10月11日（土）】



会場の様子



駐車場誘導

### 大熊町「大熊町ふるさとまつり」【2025年11月1日（土）】



ギネス世界記録®に挑戦された参加者



参加者受付のお手伝い

- 地域の特産品や魅力発信イベントのお手伝いをさせていただくなど、地域の活性化につながるよう取り組んでまいります。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



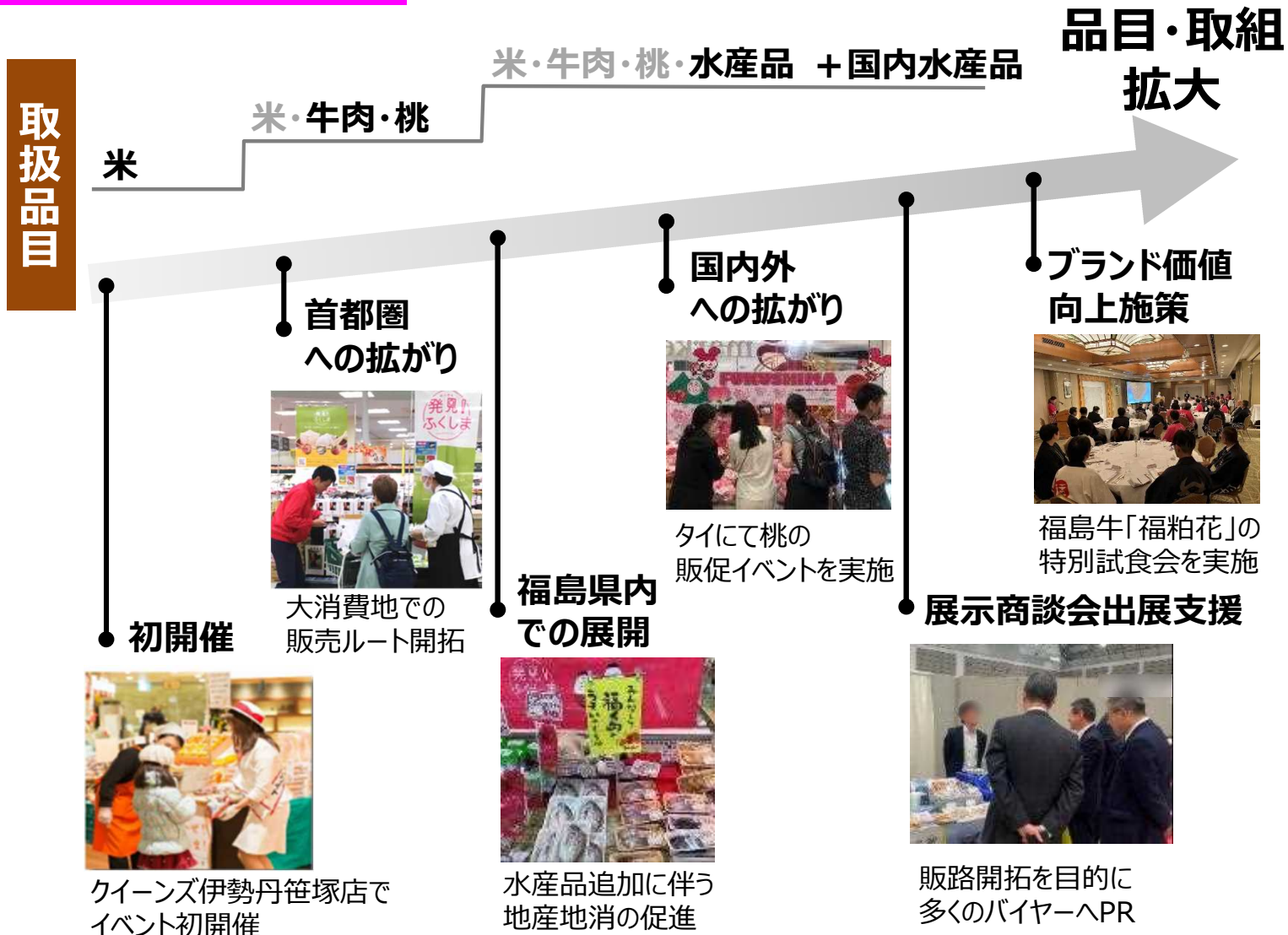
### ふくしま流通促進室（2018年2月発足）

#### 取組内容

- 福島県産品の認知度向上、消費拡大を目的に、首都圏を中心に県内などの小売店や飲食店、イベント開催などを行ってきました。
- 現在は上記に加えて、流通事業者や関連事業者との連携を図り、販路開拓、ブランド価値向上に向けた取り組みを行っています。

- 2018年のふくしま流通促進室発足以降、活動の対象とする品目や活動エリア・取組内容を順次拡大して参りました。
- 福島県の主要品目である「米」・「牛肉」・「桃」に加えて、「水産品」の4品目を中心に販売促進しています。

### 流通促進活動の変遷



## 6. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



### 福島県産品のブランド価値向上に向けた取り組み

#### 取組内容

- 福島県産品のブランド価値向上を目的に、福島牛の新ブランド「福粕花(ふくはっか)」の特別試食会に加え、福島県とJAグループふくしまが取り組む「ふくしまGAP」の理解促進やGAP認証農産物(野菜・米)のPRを行いました。

### 福島牛「福粕花」の特別試食会



プロモーションの様子【2026年2月】



リブロースのローストビーフ

- 銀座周辺の高級飲食店関係者さまをご招待し、福島県の新ブランド牛「福粕花」の特別試食会を実施。
- 今後、各飲食店さまでお取り扱いに繋がるよう支援してまいります。

### GAP認証農産物のPRイベント

#### GAP(Good Agricultural Practice)とは

自然環境・生産者・消費者に配慮した農業を  
実践することを目的に、農業の生産工程を  
適切に管理する一連の取り組みのことです。

GAPを導入することで、食品の安全性を確保し、  
消費者への信頼確保や農業経営の改善、持続  
可能な農業の実現が期待できます。



販売の様子【2025年11月】

- パネル展示や販売を通じて、「GAP」の認知度向上ならびに福島県産品の魅力をPRしました。
- トマトやシイタケ、ニンジンなど、用意した農産物は完売し、お客さまからは「GAPについて初めて聞いたが、動画やパネルがあって分かりやすかった」などのお言葉をいただきました。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



### 福島県産品の販路開拓に向けた取り組み

#### 取組内容

- 福島県産食材の販路開拓を目的に、飲食店を対象とした産地見学会や、多くのバイヤーが集まる展示商談会への出展支援を実施し、生産者さまから直接PRしました。

### 福島県産地見学会 首都圏での飲食店さまと連携した福島県産品PRイベント



桃・米農家見学の様子【2025年9月】

漁港・市場見学の様子【2025年12月】

- 首都圏のグルメフェアへの参加を検討している飲食店さまをご招待し、産地見学会を開催しました。生産環境や取り組み、食品の魅力を生産者さまから直接PRし、グルメフェアへの初参加や、福島県産食材の新規お取り扱いに繋がりました。

### 展示商談会への出展支援



商談会の様子【2025年1月】

- バイヤーを中心とした多くの来場者さまへ、当社からお声がけした福島県の事業者さまのほか、東北を中心とした事業者さまが商品をPRしました。
- 業態が多岐にわたり、ビジネスに直結した商談が可能であるため、今後も他エリアの展示会への参加も検討・推進してまいります。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



### 百貨店やスーパー等での「ふくしまフェア」

#### 取組内容

- 首都圏を中心に、福島県や国内外の百貨店、スーパーマーケットにて、福島県産の牛肉、米、桃、水産品などの販売促進イベントやフェアを開催し、福島県産品の美味しさや魅力をお伝えしました。

#### 首都圏での販売



東京都豊島区  
百貨店でのふくしまフェア【2025年5月】

#### 福島県内の販売



福島市  
スーパーでのふくしまフェア【2025年12月】

#### 西日本での販売



福岡県福岡市  
スーパーでのホタテ・桃フェア【2025年10月】

#### 国外での販売



タイ・バンコク  
高級百貨店、スーパーでの桃フェア【2025年8月】

- 今後も、小売店での定期フェア開催により福島県産品の人気を実感していただき、継続的なお取り扱いに繋がるよう取り組んでまいります。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



### 大型イベントにおける福島県産品のPR

#### 取組内容

- 多くの人で賑わう場所でイベントを開催し、福島県産品の美味しさをPRしました。
- また、首都圏や福島県内各地でキッチンカーを出店し、福島県産品の美味しさや魅力をPRしています。

キッチンカーの出店予定はこちらから →



### イベントの開催

#### 首都圏



発見! ふくしま お魚まつり in 日比谷公園  
での様子【2025年11月】

#### 福島県内



LIVE AZUMA 2025 (あずま総合運動公園)  
での様子【2025年10月】

### キッチンカーの出店

#### 首都圏



TOKYO FORWARD 2025 for 世界陸上 (都立明治公園)  
での出店の様子【2025年9月】

#### 福島県内



浜フェス2025 (道の駅なみえ)  
での出店の様子【2025年10月】

- 「福島県産品を購入できる機会を作ってもらってありがたい」とのお言葉をいただきました。今後もイベントのさらなる品質向上に努めてまいります。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み 【流通促進活動】



### 社内における福島県産品販売促進活動

#### 取組内容

- 社員一人ひとりの福島県産品購入機会創出のため、各事業所で社内販売会を定期的に行っています。
- HD本社では、地元生産者・販売店さまに参画いただき、福島県の魅力を直接お伝えいただきました。



東京電力ホールディングス本社での販売の様子



東京電力エネルギーパートナー本社での販売の様子



東京電力リニューアブルパワー本社での販売の様子



東京電力パワーグリッド東京総支社での販売の様子

- 社員からも好評のイベントであり、参画いただいた地元生産者・販売店さまからは「楽しく販売することができ、感謝の気持ちでいっぱい」「有意義な時間だった」という感謝のお言葉をいただいております。

## 6. 福島復興へ向けた取り組み【流通促進活動】



### ふくしま応援企業ネットワーク（2014年11月発足）

※当社が事務局を務め、会員企業は、2026年4月現在、202社。

#### 取組内容

- ▶ ふくしま応援企業ネットワークとは、福島へ貢献しようという志を持った企業の連絡協議会です。各社が創意工夫して、福島県産品の積極的な購入や県内施設の利用促進を図りながら情報交換と活動の輪を広げています。
- ▶ 2025年度はJヴィレッジ(檜葉町)で「定時総会」を開催しました。また、中間貯蔵施設や福島 第一原子力発電所などの「現地視察会」を開催しました。

#### 主な活動内容

1. 社員食堂等での福島県産食材の購入促進
2. 企業マルシェ（産直市）の開催
3. 贈答品、記念品での福島県産品の活用



ホームページはこちら



定時総会(Jヴィレッジ)【2025年9月】



定時総会翌日の視察会(中間貯蔵事業情報センター)【2025年9月】



浜フェス2025の後援として参加(道の駅なみえ)【2025年10月】



社員食堂「常磐ものアジの竜田揚げ」  
(熊谷組)【2025年11月】



オープンマルシェ  
(鉄鋼ビルディング)【2025年10月】



JAライフクリエイトさまとコラボした  
ECサイトの「ふくしまフェア」

- 2025年11月、「ふくしま応援企業ネットワーク」は11年目を迎えました。ふくしま応援企業ネットワーク事務局は、今後も会員企業さまの活動拡大に向け、様々なサポートを行ってまいります。

## 7. 原子力損害賠償に関する取り組みの概要

### 迅速かつ適切な原子力損害賠償に向けた組織体制

#### 取組内容

- 中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償については、これまでに対象の方からご請求いただけるよう、自治体さま広報誌への広告掲載等、様々な取り組みを実施してきました。
- また、ご相談窓口やコールセンターでは、賠償に関するお問い合わせ等に対応できるよう、体制を整えております。

#### ご相談窓口

- ご請求者さまからの賠償に関するご相談の受付やご請求書作成のお手伝いをさせていただいております。



#### コールセンター

- 中間指針第五次追補等を踏まえた追加賠償やALPS処理水放出に関する損害賠償等のお問い合わせについて、被害を受けられた皆さまの個別のご事情を丁寧に伺いながら、対応しております。



- 引き続き「3つの誓い」を徹底し、被害を受けられた皆さまへ丁寧に対応しながら、当社福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故による損害に対して、迅速かつ適切な賠償を進めてまいります。

## 8. 産業基盤の整備に資する取り組み

### 構築した事業会社を通じた世界最新鋭の石炭火力発電所の建設・運営

- 2016年、「勿来IGCCパワー合同会社」※1と「広野IGCCパワー合同会社」※2による高効率石炭火力発電所(IGCC:出力約50万kW/基)の建設・運営を実施する事業体制を構築しました。
- 同事業を通じ、建設工事・資材発注および運用後の定期点検などによる産業基盤と雇用機会の創出に貢献いたします。

※1 3社が出資(三菱重工業㈱、東京電力ホールディングス㈱、常磐共同火力㈱)

※2 2社が出資(三菱重工業㈱、東京電力ホールディングス㈱)

#### 勿来IGCCパワー合同会社



#### 広野IGCCパワー合同会社



# 8. 産業基盤の整備に資する取り組み

## 中小経年水力発電所の設備改修の完了

➤ 2024年度に福島県内の中小経年水力発電所の設備改修が完了したことに伴い、県内雇用創出や資機材調達も終了となりましたが、福島復興に資する取り組みとして、FIT収益の一部拠出を継続しています。



**戸の口堰第二発電所**  
最大出力：630kW  
運転開始：2023年2月



**戸の口堰第一発電所**  
最大出力：1,490kW  
運転開始：2023年8月



**戸の口堰第三発電所**  
最大出力：940kW  
運転開始：2023年3月



**金川発電所**  
最大出力：7,100kW  
運転開始：2019年10月



**日橋川発電所**  
最大出力：11,000kW  
運転開始：2021年7月



## FIT制度適用に伴い得られた収益の一部拠出

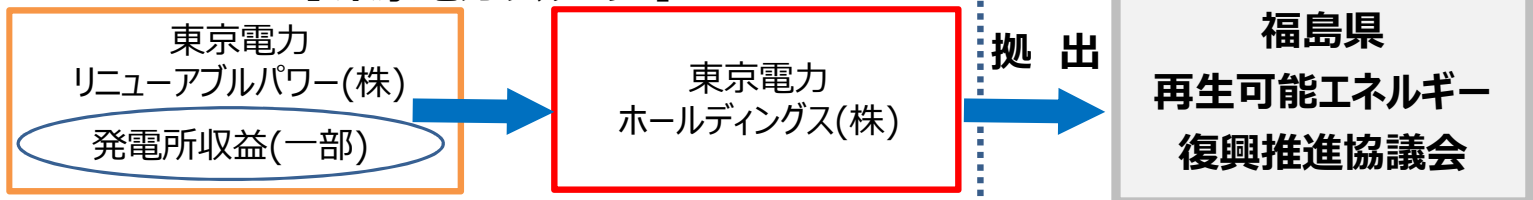
➤ 改修後の発電所においてFIT制度※1適用に伴い得られた収益の一部を福島復興の取り組みにご活用いただくよう、拠出しています。

➤ 2025年度は、全ての5水力発電所(金川・日橋川・戸の口堰第一・第二・第三発電所)において拠出※2を実施。

※1 再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定価格で一定期間買い取る制度

※2 拠出実績: 2025年度 2,116万円

### 【東京電力グループ】



## 9. 東京電力廃炉資料館

### ■ 設置の趣旨

発電所周辺地域をはじめとした福島県の皆さま、そして国内外の多くの皆さまが、福島第一原子力発電所事故の記憶と記録、反省と教訓、そして廃炉事業の現状などをご確認いただける場として、「東京電力廃炉資料館」を福島県双葉郡富岡町に設置しております。

### ■ 施設の概要



### 施設概要

名称：東京電力廃炉資料館  
所在地：福島県双葉郡富岡町中央三丁目58番地（旧エネルギー館）  
開館：2018年11月30日  
建物概要：【階層】2階建 【展示面積】約1,900㎡  
施設情報：【開館時間】9:30～16:30 【休館日】毎月第3日曜日・年末年始  
【入館料】無料（駐車場無料）



- 今後も、福島第一原子力発電所事故の経緯や廃炉事業の現状などをわかりやすくお伝えすることで、地域の皆さまをはじめ広く社会の皆さまの安心につながるよう努めてまいります。

# 10. 福島復興へ向けた活動実績

## <除染等推進活動・環境再生活動>



### これまでの実績（2026年2月末時点）

※ 福島復興本社設立（2013年1月）以降の実績

項目	内容	対応人数実績
除染（国直轄・市町村）への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約287,900人
中間貯蔵への対応	輸送への対応、除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入に関わる業務への技術的支援等	約195,100人
廃棄物・リサイクル等への対応	廃棄物・リサイクル処理の推進への人的・技術的支援等	約45,700人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、農林業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約47,300人
その他	技術開発関連、除染に係る検討・提案等	約40,900人
合計		約616,900人

### 至近1年（2025年度）の実績（2026年2月末時点）

項目	内容	対応人数実績
除染（国直轄・市町村）への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約11,500人
中間貯蔵への対応	輸送への対応、除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入に関わる業務への技術的支援等	約8,000人
廃棄物・リサイクル等への対応	廃棄物・リサイクル処理の推進への人的・技術的支援等	約4,400人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、農林業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約1,400人
合計		約25,300人

# 10. 福島復興へ向けた活動実績

## <復興推進活動>



### これまでの実績 (2026年2月末時点)

※ 福島復興本社設立 (2013年1月) 以降の実績

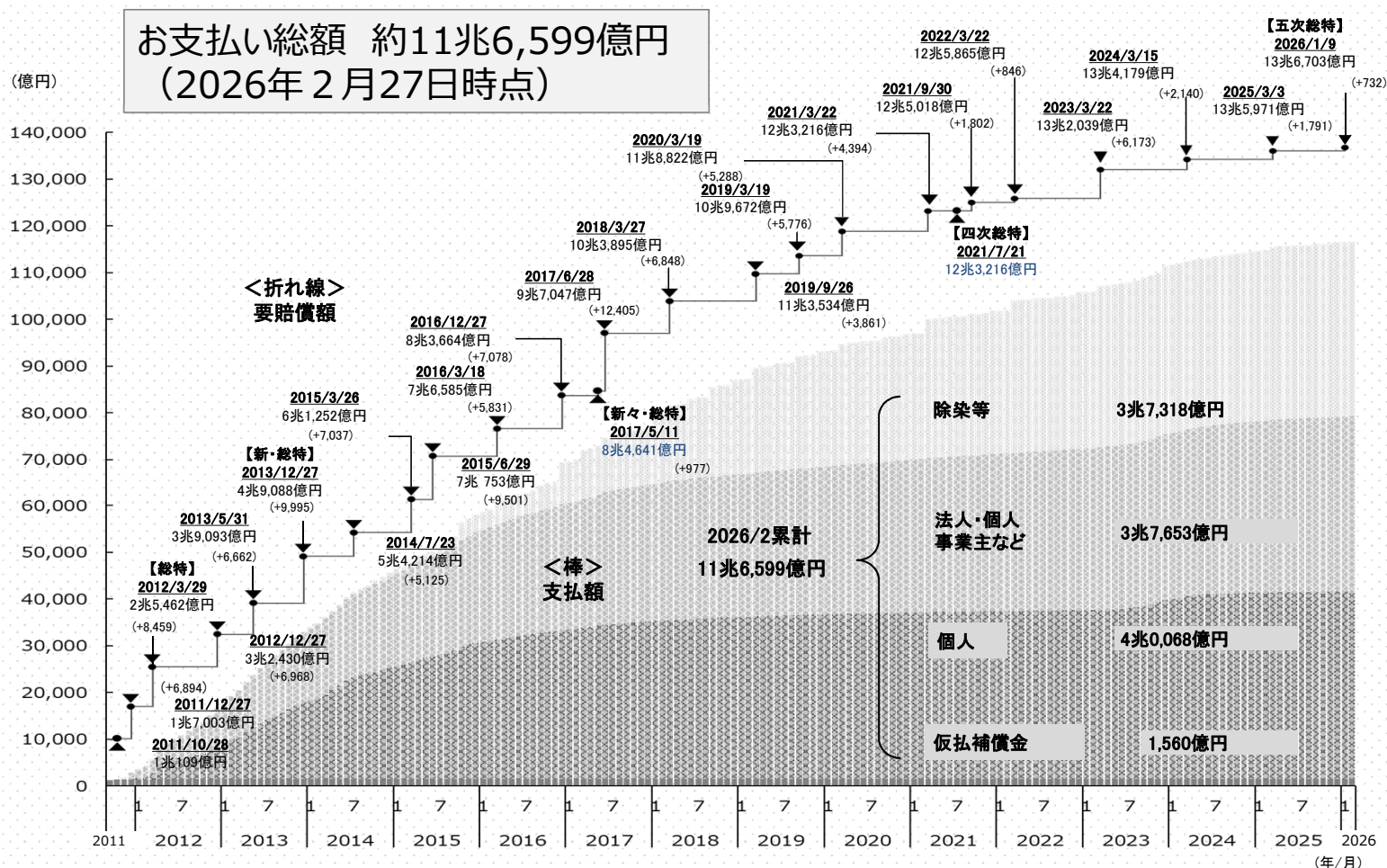
項目	内容	対応人数実績
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約240,700人
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約138,200人
イベント	イベント対応等	約25,900人
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約122,400人
営農再開等に向けた対応	電気柵設置、用水路の除草等	約32,200人
その他	お声かけ・訪問活動 等	約56,100人
合計		約615,500人

### 至近1年 (2025年度) の実績 (2026年2月末時点)

項目	内容	対応人数実績
除草作業	住宅等への進入路・墓地・公共施設等の除草	約6,100人
清掃・片付け	住宅・公共施設等の清掃・片付け	約200人
イベント	イベント対応等	約1,400人
一時帰宅対応等	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約3,100人
営農再開等に向けた対応	電気柵設置、用水路の除草等	約1,000人
その他	お声かけ・訪問活動 等	約1,300人
合計		約13,100人

# 10. 福島復興へ向けた活動実績

## <原子力損害賠償>



## <ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用 ・避難、帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等	9月:法人本賠償 ・営業損害・出荷制限指示等による損害 ・風評被害・間接損害等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2022年		12月:ALPS処理水放出に伴い風評被害等が発生した場合の賠償
2023年	3月:中間指針第五次追補決定等を踏まえた精神的損害等に対する追加の賠償	
2024年	3月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2026年	3月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

## (参考) 福島復興へ向けた取り組み 「アーカイブページ」のご案内

- 過去の代表定例会見でお知らせした内容は、当社ホームページ内にある福島復興本社専用ページからご覧いただけます。

### ① インターネットから下記キーワードで検索

[https://www.tepco.co.jp/fukushima\\_hq/index-j.html](https://www.tepco.co.jp/fukushima_hq/index-j.html)

🔍 **東京電力 福島復興への責任**

検索



### ② 福島復興本社のホームページからご覧いただく項目を選択

福島復興への責任

賠償

③ 環境再生

復興推進

④ 福島復興本社について



### ③アーカイブ（環境再生・復興推進）※

#### ④福島復興本社 代表定例会見 公表資料・動画

※流通促進活動の過去公表事例は、各公表資料をご確認ください

### 動画でみる福島復興の取り組み



### 福島県産品の美味しさ・魅力をお伝えします



### ⑤福島県産品の流通促進に向けた取り組み (イベント情報・県産品の魅力発信)



本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。